

北海道 富良野緑峰高等学校

所在地 — 富良野市西町1-1

構造・規模 — RC造4階建 11,572m²

完成年月日 — 平成14年1月25日

建築実施設計 — 岩見田・吉田・北星 JV

設備実施設計 — 共同・伸和 JV

外構実施設計 — (株)拓殖設計

設計の考え方

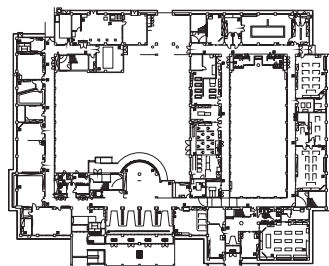
■外観計画

富良野の自然を背景に周辺環境と調和させ、富良野のイメージカラー—ラベンダ色をポイント色としている。

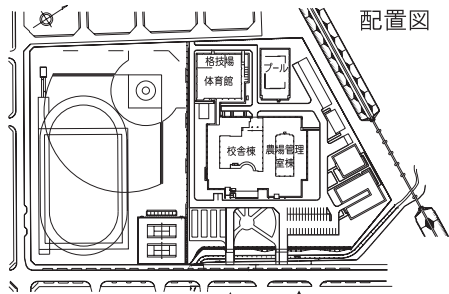
これからの新たな歴史と伝統をつくる学舎として、落ち着きと、未来への躍動感が感じられる外観とした。

■平面計画

安全が主役の施設づくり、会話が生まれる施設づくりをコンセプトとして視線が交差する大小の中庭を持つ回廊型を採用している。中庭は学校のポケットパークとしてラベンダーの香りが感じられる生徒の憩いの場、語らいの場を造り出している。



1階平面図



配置図



北海道 遠別農業高等学校

所在地 — 天塩郡遠別町字北浜74番地

構造・規模 — RC造2階建 2,281m²

完成年月日 — 平成14年2月14日

基本計画 — 北海道建築設計監理(株)

建築実施設計 — 道設計・日建社・瀧 JV

設備実施設計 — 大洋建築設備研究所

外構実施設計 — ダイシン設計

設計の考え方

■周辺環境と調和した学校

校舎西側に広がる日本海と秀峰利尻富士を借景とし、豊かな自然環境に調和した、地域と積極的に交流できる場を創造した。

■次代を見据えた機能性の高い学校

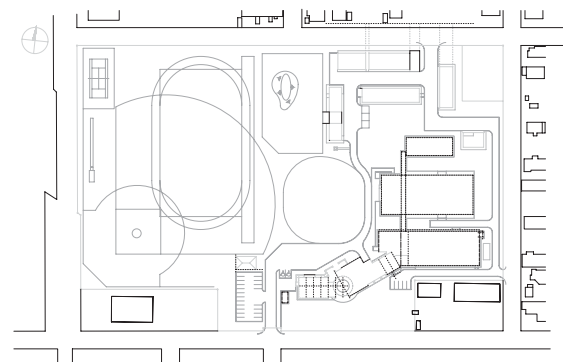
農業関連技術の先駆者を育成する場として、最新技術を導入し、フレキシブルに時代の要求に応えられる計画としている。

■心象風景として記憶に残る学校

画一化された学校建築でなく、校舎内外に点在する余白部分で学生生活に潤いを与え、土の匂いがする温かみのある空間となるよう、道産材、地場産品を多用し、学校を離れても記憶に残る校舎づくりを目指した。

■地球に優しい省エネルギーを意識した校舎

トップライト、ハイサイドライトを効率よく、用い、ライニングコストのかからない、長寿命で環境負荷の少ない材料、工法を採用した。



配置図

北海道 北見北斗高等学校

所在地 — 北見市北斗町1丁目1-11

構造・規模 — RC造3階建 7,969m²

完成年月日 — 平成13年1月20日

建築実施設計 — 道開コン・二葉・清和 JV

設備実施設計 — 岡ハス・そうごう JV

外構実施設計 — パブリック・コンサルタント(株)

設計の考え方

■配置計画

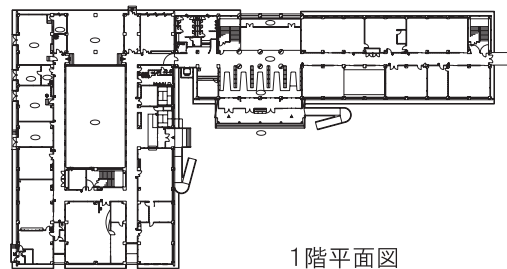
校舎(教室棟)の配置は周辺地への日影の配慮、既設の前庭・グランドの有効利用に配慮したL字型としている。

■平面計画

校舎は、昇降口に面した吹抜けのあるホールに連続した4階建の普通教室棟と、中庭を取り囲むように教室を配置した3階建の特別教室棟との2つのゾーンより構成されている。

■立面計画

この2つのゾーンを特色づけるように、昇降口の庇・階段室上部のハイサイドライト・特別棟上部にある視聴覚室の屋根やバルコニーなどの幾何学的な意匠の造形が付加され、特色ある立面を構成している。



1階平面図



北海道 室蘭清水丘高等学校

所在地 — 室蘭市増市町2-6-16

構造・規模 — RC造5階建 7,251m²

完成年月日 — 平成14年3月20日

基本計画 — (株)環境設計

建築実施設計 — 環境設計・ホクテイ・田上 JV

設備実施設計 — 協栄・総合設備計画 JV

外構実施設計 — パブリック・コンサルタント(株)

設計の考え方

■外部デザイン

校舎棟は、大きくボリュームのある低層部(1~2階)と高層部に構成が分かれている。低層部にはせり器質タイルを貼り、上部よりも幅を広げることで安定感を持たせている。また、目に触れやすい部分にタイルを貼った理由として、耐久性はもちろん、常にものの質感に敏感で有って欲しいという願いが込められている。

■イメージ

風の強い室蘭という地域という点で、風の流れを連想させる柔らかなカーブを。そして未来への飛翔をイメージさせる色としてシルバーを採用。



北海道 帯広柏葉高等学校

所在地 — 帯広市東5条南1丁目

構造・規模 — RC造4階建 9,943m²

完成年月日 — 平成15年12月9日

基本計画 — (株)岩見田建築設計事務所

建築実施設計 — 岩見田・集団制作・岡田 JV

設備実施設計 — 塚田・北洋 JV

外構実施設計 — (株)シビテック

設計の考え方

■ テーマ

建学の精神「オベリベリの魂」をもって21世紀に向けて新しい価値観を創造し発信する学び舎を目指す。

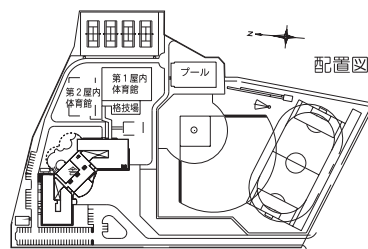
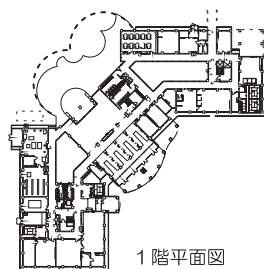
豊かな自然との調和、地域に開かれた学校、時代に即応し、生徒自ら積極的に学ぶ事のできる学校を目指す。

■ 設計の考え方

柏葉高等学校の歴史と伝統を踏まえがっしりと大地に根付かせ、未来への飛躍と発展をイメージできる外観とした。

平面計画では片廊下型を基本として明るく単純な動線計画を実現している。

2層吹き抜けを持つ多目的ホールは屋外多目的スペースと連続性をもたせ特徴のある空間とした。



北海道音更高等学校

所在地—河東郡音更町駒場西1番地

構造・規模—RC造4階建 8,137m²

完成年月日—平成14年1月25日

基本計画—(株)都市設計研究所

建築実施設計—都市・荻原・翼 JV

設備実施設計—塚田・アド・廣瀬 JV

外構実施設計—パブリック・コンサルタント(株)

設計の考え方

■現代的な外観デザイン

比較的新しい十勝の歴史に配慮し、周辺の自然や農地と対比しながらの調和を図るため、円形の開口部や半円筒形のトップライト等の幾何学的な形態を持つ現代的な外観デザインとする。

■校舎前面に開放的な広場を設ける

旧校舎のあった前面広場を緑地や職員駐車場のある多目的広場とする。

建物の中央部に十勝の太陽を取り入れる多目的広場と2つの光庭を持つ回廊式の平面とする。

入口正面には3層吹き抜けで頂部に半円筒状ガラスブロックのトップライトを設け、両側の光庭から、十勝の太陽光をふんだんに取り入れる、生徒達や地域の人々の交流広場を設ける。

■道産材の活用

廊下や多目的広場の腰壁や、各教室の床面に道産フローリングブロックを多用する。



北海道 釧路工業高等学校

所在地 — 釧路市鶴ヶ岱3丁目5-1

構造・規模 — RC造4階建 18,595m²

完成年月日 — 平成13年3月17日

基本計画 — 日本都市開発設計(株)

建築実施設計 — 日本都市・山本・釧路総合 JV

設備実施設計 — 北日本・協栄・田代 JV

外構実施設計 — (株)アイネス

設計の考え方

■躍動感あふれる外観

春採湖を望む鶴ヶ岱の恵まれた環境と調和するよう配慮し、躍動感あふれる外観を演出した。

町並みに調和した色彩計画を行い、工業高校としての落ち着きと機能的な美しさに配慮した。アクセントとして、アプローチ上にスカイライト(キャノピー)を設置。

■場のデザイン

同一学年同一フロアとし、ゆとりスペースを確保することで、生徒の交流の場を生出した。

生涯学習の場(コミュニティスクール)として、地域と交流可能な教育空間の創出。また、機能に合わせて校舎棟と産振棟を分離し、生徒の移動がスムーズに行えるよう回廊(廊下)と階段を配置した。



北海道 釧路北高等学校

所在地—釧路市愛国西1丁目38-7

構造・規模—RC造4階建 6,963m²

完成年月日—平成14年1月30日

基本計画—北海道建築設計監理(株)

建築実施設計—道建築設計・本ビル・釧路総合 JV

設備実施設計—岩見田・北日本・山道 JV

外構実施設計—(株)拓殖設計

設計の考え方

■周辺環境との調和、景観としての調和、そして生涯学習の場として地域社会と調和する開かれた学校とした。

■学校建築の多様性と連続性に対して単純明確な動線とし、明るく快適でゆとりある空間とした。

■コミュニケーション醸成の場としての空間構成、視覚的つながりのある空間づくりであること。

■校地を有効活用できるコンパクトで、目の行き届く配置計画とした。

